

平成30年度第2回 市長と話そうまち育てタウンミーティング ～黒岩の楽しいシニア生活を考える～



市長と話そうまち育て タウンミーティングとは…

市内で活動している団体の皆さんが、日ごろの取組みや活動を通して気づいたことなどについて、市長と気軽に意見交換する場です。



(特非)あすの黒岩を築く会とは…
黒岩地区の良さを次世代に伝えるとともに、様々な課題を住民自らが解決することにより、黒岩地区全体の明るく豊かな生活の実現に寄与することを目的に活動する。月に一度、高齢者の交流の場として、お茶っこ飲み会を開催している。

平成31年3月21日（木）時 11時30分～12時30分
黒岩わくわく夢工房にて

《参加者》

- 特定非営利活動法人あすの黒岩を築く会
理事長 藤本 忠則、常務理事 多田 和雄
黒岩地区交流センター長 菅原 敬夫
事務局長（懇談進行）小田島 光安、黒岩地区住民12名
- 北上市長 高橋 敏彦
事務局（総合司会） 政策企画課長 斎藤 昌彦

【市長あいさつ】

タウンミーティングでは、たくさんのアイデアをいただいて、市の施策に反映したり、逆に団体の活動により影響が出たりと双方に新しい視点をもたらす良い機会となっている。

黒岩地区は昔から独自で、自分たちの地域のまちづくりを行ってきた、言わばまちづくりの先進地。毎月1回、お茶っこ飲み会で集まり、その中で、様々なお話が出るのだろうと思う。皆さんのこれまでの経験というのは、30年後、あるいはもっと先に生かされる貴重なものだと思う。その経験に新しい技術を組み合わせれば、非常に楽しいライフスタイルが確立でき、子供たちの将来の楽しい地域生活につながる。ぜひいろいろなお話を聞かせてほしい。よろしくお願いします。

【特定非営利活動法人 あすの黒岩を築く会 理事長あいさつ】

お題目にタウンミーティングとあって驚く方もいるかもしれないが、テーマに沿わなくても良いので、自分の思っていることや「このようにしたら、地域がよくなるんじゃないか？」など、いろいろな話を何でもいいので、ざっくばらんにお話しいただきたい。

黒岩の方言でいつものようにお話しください。よろしくお願いします。

懇談内容

◎コミュニティバスについて、停留所である飯下公民館まで下るのが大変だという利用者が多いが、沢目公民館近くに停留所を置くことはできないか？

(市長) コミュニティバスに関しては、市と黒岩地区交流センターで協議をしている。幹線を走るための大きいバスを運行しており、その大きさでは、沢目公民館でUターンするのは難しい。

(交流センター長) 確かに停留所まで2キロも歩く人がいると聞いているので、現在、停留所までの地域内交通の整備を検討中。運送料金等を含め、持続可能な運行とするため、協議を進める。

(市長) 地域内交通について、工夫次第で活路が見いだせると思う。一緒に考えていきましょう！

からこそ。人を呼ぶことが良いことだと信じて取り組んできた。当時は小滝さんを作っても知らない人ばかりだったが、今ではさくら祭りの際に小滝さんを見に来る人も増えている。年間来訪者数を数えたら約5000人も来ていた。交流人口を増やすことは黒岩全体の課題として取り組んでいく必要がある。

(市長) 先週夏油高原スキー場の関係もあって、北海道のニセコ観光圏に視察に行った。ニセコが世界的にブランド化しているのは、スキー場だけでなく、周辺の自然を大事にしているために、住みたい人が、海外からはもちろん、日本全国からも増えているからだろう。20年前から、環境にやさしい街づくりを取り組んだ成果であり、自然を使った遊びを開発し、自然を活かしたライフスタイルを情報発信したために移住者が増えた。これからは便利さではなく、自然とどうつきあうか、ま

◎最寄りのATM（現金自動出納機）までが遠く、お金をすぐに下せなくて困ることがある。黒岩から江釣子ショッピングセンターPALにあるATMまで行かなくてはいけないときもある。

(市長) 皆さんの利便性を考慮し、必要な機関に対しては要望等を行うことも検討している。

◎黒岩独自の魅力が少ないからか、市街地に人が流出してしまう。農業をやめ会社で働いてしまう。

(市長) 今、兼業農家、つまり、自分たちが食べる分だけ作って、自分の農地を守りながら勤めに出る人が多いが、



た素晴らしいライフスタイルの情報発信がキーポイントとなる。例えば、林の中に秘密基地をつくるなどの「遊び」をよく覚えているのは、実は90歳くらいの年齢の皆さん。小さいころ遊んだ記憶が大事になり、若者には十分魅力的に映る。

人が集まれば、商業施設や働く場所が増える、そういう好循環を作り上げていきたい。

◎初めて参加したが、この会はすごく良いと感じている。年を取ると不便を感じる機会が増えるが、やっぱり喋って吐き出すのが大切。平成11年に黒岩地区の振興計画を作ったが、この計画の中で老人たちが集う場を作ることを定め、この会はそれを受けて出来たもの。新たに皆が集う施設を作るのは苦労がかかること。

稲作以外の農業は手間がかかり、農地を荒らしてしまうことがある。農地が荒れると今度は、会社の近くにいる方が便利だという理由で、いなくなってしまう人もいるだろう。土地を守ってほしいので、兼業農家を応援する政策を打ち出している。

◎広報に載る婚活イベントについて、条件が40歳以下とあるが、なぜ年齢を決めているのか。年齢を定めずに、独身男性と決めたいと思う。

(市長) 広報に載る婚活イベントは市とは別の団体が開催している。市では婚活イベントはしていない。今後主催団体に伝えておく。

◎平成9年から「お滝さん」の整備に着手し、計画段階からすべて地元で行い、今年で21年目になる。小さな集落でここまでやってこれたのは、全て我々の過疎化への危機感があった

これから学校統合に伴い、閉校する校舎を地域のために提供してもらえればありがたい。黒岩の年寄りたちの楽しみが増える。

お年寄りが元気だと、子どもたちも我々の地域で育てていこうという感覚が芽生える。お年寄りが集う場は本当に大切だ。

(市長) 最後に、私から一言。本日は、いろんな楽しい話を聞いて良かった。決して、人口が減っているからといってあきらめずに、成功している所もいっぱいあるので、希望をもっていただきたい。また我々もしっかり頑張っていきたいと思う。これからも思いつきでもいいので、意見を出し合い、我々に伝えてもらえる嬉しい。ありがとうございました。

！黒岩地区の皆様！

！ありがとうございました！